



来て/見て/住んで!

Yamakita

議会だより

定例会・臨時会 … P. 2～3

委員会報告 … P. 4～6

一般質問 … P. 7～11

審議結果 … P.12～13

No.163

神奈川県山北町
平成22年11月1日

再生紙を使用しています。

平成21年度決算を認定 9月定例会開催

平成22年第3回定例会が9月7日から15日までの9日間開催されました。主な議題は平成21年度決算の認定でした。他に条例改正2件、補正予算12件、規約の変更1件、人事2件等が審議され、全議案を可決しました。

台風9号から変わった熱帯低気圧により、災害が発生したために議会休会や現地視察等があり、日程変更がありました。なお、被害の状況は逐次議会に報告がありました。

9月定例会

平成21年度決算

総務環境常任委員会と福祉教育常任委員会に付託され審査を行いました。

条例改正

山北町役場の位置を定める条例等の一部改正

施設の地番表記が統一されていないので、条例の地番表記を統一し、22条例を改正しました。

山北町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正

町長の給与を30%減額する一部改正であり、平成22年10月1日から施行するものです。主な質疑は以下のとおりです。

池谷議員 町長は、30%減額を4年間実施する明確な回答がない。

答弁 4年間減額するつもりです。

石田議員 どのくらいの減額になるか。

答弁 今年度は期末手当を含めて約208万円になります。

全員賛成で可決しました。

規約の変更

神奈川県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更

共通経費に係る均等割の負担割合が10%から5%に変更されました。全員賛成で可決しました。

人事

人権擁護委員の推薦

前任者が任期満了となったため、後任として藤嶋研二氏及び府川千津子氏の推薦が提案され、全員賛成で同意しました。

平成22年度補正予算

一般会計

歳入歳出総額それぞれ1億6752万円の増額補正です。歳入の主なものは、

地方交付税の確定による1億1786万円の増額、各特別会計の前年度決算に伴う繰入金2039万円の増額です。

歳入の主なものは、障害者自立支援給付事業2100万円増額、道路維持補修事業1385万円の増額、財政調整基金へ9000万円を積み立てるものです。

全員賛成で可決しました。主な質疑は以下のとおりです。

川村議員 下本村コミュニティセンターの用地購入費は何か。

答弁 土地所有者からの

申し出により、借地を購入するものです。

岩本議員 販売用のごみ袋を保管する倉庫を建てる場所は。

答弁 役野の旧町営住宅跡地です。

茂木議員 酒水の滝を今後、どのように考えているか。

答弁 二の滝、三の滝を含めてさらに観光に活かしていきたい。9月30日に県知事に視察していただきます。



町が現状調査を行った酒水の滝(三の滝)

特別会計

国民健康保険事業

瀬戸(恵)議員 足柄上病院で産科の先生が減ったと聞くが、対応をしているのか。

答弁 医療体制をとっていただくようお願いしている現状です。引き続き要望をしていきます。

三保財産区

石田議員 水源協定契約は20年契約ではないのか。

答弁 3月30日の契約なので、19年と2日となり、2日は日割り計算です。

介護保険事業

茂木議員 介護給付基金の繰入と繰り出しが別立てなのはなぜか。

答弁 基金の出し入れが解りづらいので、繰入金と繰出金を別々にしています。

老人保健医療、後期高齢者医療、災害給付見舞事業、下水道事業、町設置型浄化槽事業、財産区(山北・共

和)、商品券の各特別会計は質疑がありませんでした。

第3回臨時議会 (8月6日開催)

条例改正

山北町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正

町の財政運営の健全化の一助として、町長及び副町長に支給される給与を減額する特別措置を実施するため、町長30%、副町長15%をそれぞれ減額する提案がされました。主な質疑は次のとおりです。

茂木議員 なぜ、町長だけの減額にしなかったのか。

副町長 町の厳しい財政情勢のなかで、給料を減額して健全運営にあたる姿勢に私も教育長も決断したものです。

池谷議員 財政がよくなれば減額を戻したいとは。

町長 毎年の決算を見て、早く戻したい気持ちです。

小宮議員 町民は1期4年30%減額すると思っっている。

町長 1期4年間、全力で頑張っていきます。賛成少数のため否決しました。

山北町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正

町の財政運営の健全化の一助として、教育長に支給される給与を10%減額するものです。

賛成少数のため否決しました。

山北町消防団員等公務災害補償条例の一部改正

非常勤消防団員等に係わる損害補償の基準を定める政令の一部が改正されたことに伴い、条例を改正するものです。全員賛成で可決しました。

人事

7月の補欠選挙で当選した瀬戸顯弘議員を総務環境常任委員に選任しました。

第4回臨時議会 (10月4日開催)

台風9号により被害を受けた各施設の災害復旧をする一般会計及び水道事業会計を補正するものです。

一般会計

歳入歳出予算それぞれ2億2813万円を追加するものです。主なものとして、農林水産施設復旧費は、用沢農道、林道等との測量設計を含めて7027万円。公共土木施設費は6364万円。町道等の災害復旧工事として4700万円。また、観光施設については、ふれあいビレッジ、千代の沢園

地、中川休憩施設、洒水の滝遊歩道や大野山ハイキングコース等の土砂の撤去や車の借上料と職員の時間外手当8433万円、ふれあいビレッジの土砂撤去8300万円等です。

全員賛成で可決しました。

水道事業会計

歳入歳出予算それぞれ456万円を追加するものです。

主なものは、水道の災害復旧工事及び給水等に要した職員の間外手当です。なお、災害復旧工事は、6ヶ所で川西・共和・世附の各簡易水道や台の配水池、尺里川、湯触水源の工事をするものです。全員賛成で可決しました。

災害の状況を 確認

9月13日には常任委員会の調査を行いました。通常の予定を変更し、二つの常任委員会合同で、台風にもなう大雨による災害箇所へ入り、被災状況等を把握しました。



土砂に埋もれた河内川ふれあいビレッジ

◆ 委員会審査報告 ◆

総務環境常任委員会

- 委員長 茂木 猛
- 副委員長 池谷 莊次郎
- 委員 瀬戸 顯弘
- 同 川村 俊治
- 同 岩本 章治
- 同 小菅 光雄

総務環境常任委員会では、一般会計のうち政策秘書課、企画財政課、総務防災課、税務課、生活環境課、産業観光課、都市整備課、定住対策室、会計課の所管に属する事項および災害給付見舞事業、下水道事業、町設置型浄化槽事業、山北・共和・三保財産区、商品券の各特別会計を審査しました。

一般会計

岩本委員 自動車税では、普通車から軽への移行が増えているのか。

税務課長 平成21年度は原付を含めた軽自動車が増え、5148台、対前年100台の増で、内5ナンバーの乗用車は対前年87台の増です。税収も若干の増となっています。

池谷委員 町道平山線の事業が、地域要望もあるな

かなぜ不調になったのか。
都市整備課長 単価の問題、契約者の死去などにより3件が不調でした。平成22年度には契約可能となりました。

池谷委員 新潟県村上市(旧山北町)との産業交流事業は、もう少し発展的なものへの見直しが必要ではないか。

産業観光課長 事業費約170万円の内、160万円程が「産業まつり」、残りの10万円程が旧山北町と

の交流経費となっています。当町からは「魚まつり」に参加し交流を深めています。さらに子どもたちとの交流や漁協のアンテナショップの設置等の話もありましたが、実現はしていません。

小菅委員 駅周辺魅力づくり検討事業は、長い年月、多くの調査費をかけて調査してきたものである。町長はこれを無駄と思うか、今後に活かしていきたいと思うか。



整備が検討されている山北駅北側公共用地

町長 当然、活かして行けるものならば活かしたいと考えています。

小菅委員 一貫質問で、「駅前の商店街の計画は白紙に戻す」との答弁に私は驚いた。駅の商店街は20年程前から取り組んでおり、また、隣接の商店街と一体的に開発するという考えで進んでいた。一部反対者がいたために、取りやめた経緯はあるが、今回の計画か

ら商店街を取り除き、白紙に戻すという意味がわからない。

町長 私の計画は店舗併用の中堅所得者住宅を建てることでありますが、平成14、15年に地権者の協力が得られなかった経緯により、隣接の商店街を除いた計画にしました。協力が得られれば計画に入れたという気持ちはあります。
小菅委員 安心しまし

た。町の説明で、商工会、商店振興会、地権者や隣接住民も概ね理解していると思う。町長の新たな計画の説明では、完成が一年遅れてしまう。隣接の商店街を残しては、店舗も住宅もできないと思う。

町長 いろいろな方法を検討し、最良の方法をとってきたい。

岩本委員 日向の活性化施設は有効に利用されているか。利用状況はどうか。

産業観光課長 4月の開設以来、利用はありますが、「活性化している」とは言えない状況です。一週間に一度程度、大半が町内の方々なので、利用収入はほとんどありません。

池谷委員 籌杉公園の用地測量が終了しているが、「土地を貸して何もしてくれなかった」という地元の話も届いている。測量した後の賃貸等はどこまで進んでいるのか。

産業観光課長 県を交えて2000年紀のイベントと植樹等の実施以降は動きがありませんでしたが、こ

こで用地測量を行い、地権者の方々の境界を出し、正式な賃貸契約を結んで行けるよう調整中です。

川村委員 町税の収納率が去年より0.4%下がった原因は。

税務課長 現年課税分

99%を目標にしているが、町民税については、滞納者宅に国税庁の査察が入り、分納計画を立てていた滞納額を税務署に押さえられてしまった為です。また、不況により分納計画が1年で完済しない方など、多年度で対応せざるを得ないケースがあった為です。固定資産税についても同様です。

特別会計

下水道事業

瀬戸(顯)委員 接続率が20年度75.8%、21年度78.9%とあまり伸びていない理由は。

生活環境課長 接続のお願いもしていますが、浄化槽の耐用年数が残っているお宅もあり、下水道への切り替えが思うように進んで

いません。



町設置型浄化槽事業

池谷委員 21年度は浄化槽の設置が36基で、目標に届かなかった。その要因と今後の計画は。

生活環境課長 家庭の事情・時期的な問題等が要因ですが、一軒一軒再度お願いし、最初の5年に引き続き、次期も全戸ができるよう予定していきたい。

共和財産区

瀬戸(顯)委員 財産売却収入5万7750円はどのような内容か。

総務防災課長 八丁・神繩林道開設に伴い伐採した杉144本の売り払い収入で、分収契約のため1/2が収入となりました。

瀬戸(顯)委員 木の価格が低下していると言われる中、樹木の財産としての



価値や山林を守る方法はどのように考えているか。

町長 財産区を含め、山北町は広大な山林を所有しています。樹木等の市場価値だけで判断するのではなく、財産区管理会の理解のもと適正な管理を行い、将来の子どもたちに繋げていくよう貴重な財産として守っていきたい。

水道事業会計

川村委員 事業外費用の支払利息は、水道事業経営に影響はないのか。

生活環境課長 支払利息は計画的に返済しているもので、影響はありません。

以上で質疑を終了し、委員全員賛成で原案どおり了承しました。

福祉教育常任委員会

- 委員長 瀬戸恵津子
- 副委員長 熊澤友子
- 委員 佐藤光男
- 同 石田進二
- 同 杉本君雄
- 同 細川哲郎
- 同 本杉博是

福祉教育常任委員会では、一般会計のうち町民課、福祉課、健康づくり課と教育委員会所管に属する事項および国民健康保険事業、老人保健医療、後期高齢者医療、介護保険事業の各特別会計を審査しました。

一般会計

佐藤委員 保育料の収入未済額の詳細を説明願いたい。

ら直接引き落とすことではできないと聞くが、子ども手当を充当されるような、滞納者への働きかけを行っているのか。

え、現在月14〜15人の利用者数となります。なお運営にあたり、当初財政計画では、1日当りの利用者を16人と見込んでいますが、21年度実績では12、2人となっているため、不足分は町で負担しています。

福祉課長 保育料は、平成15〜20年度分で滞納件数28件、平成21年度分は18件で、実質は9人です。現年度分の徴収率は、99.21%です。

福祉課長 6、10、2月の年3回支給されますが、強制ではなくお願いしています。そのうち何人かは充当されました。

共和地区では、福祉バスでの送迎を行っています。いただいています。

佐藤委員 平成15年度の滞納者は、すでに在園していないが対応はどのようにしているのか。

福祉課長 卒園者は、現在分割納付をされています。

石田委員 在宅訪問診療は、清水・三保地区が多いのか。

佐藤委員 子ども手当か

340人の方が利用しています。在宅訪問診療者が増

熊澤委員 障害者福祉タクシー助成事業で、予算は

健康づくり課長 20年12月に再開し、当初の月利用者は216人、21年度末では316人で、今年度は

健康づくり課長 広報で周知したので山北地区へも訪問しています。



耐震工事が終了した山北幼稚園

90万円だが、利用者は何人か。

福祉課長 対象者は

145人で、年間36枚の基本料金分の利用券を交付し、のべ1169枚の利用です。実際に利用した額は、83万円を支出しました。

熊澤委員 全員の方が利

用しているのか。

福祉課長 全員利用されて

いますが、36枚全部使わない方もいます。利用された分だけタクシー会社へ支払いをします。

石田委員 山北幼稚園の

耐震工事を現地調査したが、これで幼稚園、保育

園、小中学校の全ての施設の耐震補強工事は終わったのか。

学校教育課長 今年度、

岸幼稚園の耐震診断を行っています。結果が出れば設計、工事を行う予定です。それですべて終了です。

特別会計

― 国民健康保険事業 ―

石田委員 基金が平成21

年度で6094万9千円を繰り入れていて、残額は4600万円である。基金が平成22年度でなくなるのではないか。今後の運営はどのようにするのか。

町民課長 平成22年度で

4500万円繰り入れるので、残額は100万円程度です。税率を見直すには、新たな医療制度も見据えた中で行う必要があり、国の動向を見極めながら対処していきたいと考えています。

杉本委員 不納欠損は昨

年に比べて若干減っているが、収納率と短期証の発行状況は。

町民課長 滞納繰越分の収納率は14.9%で若干は改善しました。短期証は43

世帯、91人に発行しました。これまで滞納世帯であっても中学生以下には6ヶ月証を交付することになってい

佐藤委員 高額医療費を

支給しているが、最も高額な方はどのくらいか。

町民課長 平成21年度は

450万円程です。少しでも医療費を削減するため、ジェネリック医薬品を使用した場合の自己負担の軽減額を示した明細書を送り、普及に努めます。

― 介護保険事業 ―

石田委員 在宅介護者は

何人か。

福祉課長 介護認定を受

けて在宅で居宅サービスを受けられている方は、要支援を除く介護認定者405名中、居宅が280名で69.1%、施設が100名で24.7%、認定は受けた

がサービス利用のない方が25名で約6%です。

杉本委員 認定調査事業

の調査件数と年間の認定審査会の回数ほどのくらいか。

福祉課長 認定調査件

数は年間597件、新規131件、更新436件、変更30件です。認定審査会への審査件数は615件です。毎週2回開成町で開催しました。

以上で質疑を終了し、委員全員賛成で、原案どおり了承しました。



陳情

保育制度改革に関する意見書提出を求める陳情書

公的保育制度を守り拡充

する神奈川県実行委員会から提出され、福祉教育常任委員会でも審査しました。

国の子ども・子育て新システムの基本制度案要綱による保育制度改革に対し、現行の保育制度の拡充を求める陳情です。

委員会では、山北町の状況、財政支援、自治体の負担、直接契約方式等について審査しました。新システムについては、国会で主体的に審議されるべきとし、趣旨採択としました。

議員の辞職

牧田礼二氏から、平成22年8月31日に一身上の都合により議員辞職したい旨の申し出があり、同日付けで受理されました。

牧田氏は16年2ヶ月の長きにわたり町議会議員として活躍されましたが、平成22年9月15日永眠されました。

心よりご冥福をお祈りいたします。

一般質問

- 議員が行財政全般にわたって執行者（町長）に疑問をただし、所信の表明を求める議員主導の政策論争であります。
- 質問議員は前もって質問要旨を通告し、答弁の準備の時間を確保することになっています。
- 質問として適当でないものは、事務的見解をただすもの、制度の説明を求めるもの、議案審議の段階でただせるもの、道路改修などの地区要望などとされています。

山北町議会では、対面型・一問一答方式、質問時間 60 分以内で行っています。

*一問一答方式とは、案件に対する疑問点を一つずつ取り上げ、納得のいくまで質疑、答弁を繰り返す方法です。また、傍聴者にもわかりやすく、緊張感のある深みを持った論戦が展開されています。

議会だよりの原稿は質問者本人が作成しています。

多くの方の傍聴をお待ちしています。



池谷 莊次郎議員

施政方針

Q ▶ 選挙公約に対する財政運営は

A ▶ 段階的に実施します

町長の選挙用討議資料の中から施策を質問します。

質問 保育料の第2子からの無料化及び給食費の半額について、財政規模を含めた財政運営は。

答弁 第2子からの保育料の無料化は幼稚園使用料と合わせて実施することが望ましいので、予算全体について事業ごとの優先順位等を見きわめ、財政上のめどを立てた上で段階的に実施していきたいと考えています。

給食費については、第2子からの保育園保育料、幼稚園使用料の無料化の中で合わせて検討したいと考えています。小・中学校については今後、調査検討した中で実施していきたいと考えています。

質問 小・中学校の通学区の廃止の考え方。廃止の場合のスクールバスの考えは。

答弁 山北町学校統廃合計画及び実施計画に基づき、統廃合するまではおおむね3年の期間が必要となりますので、実施計画に基づき、統廃合する地域の通学区を廃止し、児童・生徒の慣れや交流、利便性の向上を図っていきます。

スクールバスについては、地域の意見をいただき、台数や運行方法等を決め実施していきます。

質問 谷峨駅周辺の再生への取り組みは。

答弁 「ようこそ山北へ」などの看板を設置し、間伐材を活用した休憩ベンチや記念撮影ができるスポットなどを設置していきたい。

質問 湯川町長の行政の継続性の考え方及び健康づくりの方針は今後どのように進めていくのか。

答弁 各種の事業が町の発展や町民の利益に繋がることであれば、継続的に取り組むことが必要であると考えています。

健康づくりに対する基本姿勢は、健康を維持するための予防を重点に取り組んでいきます。

子宮頸がんの予防ワクチンについては、町として女子中学生を対象に財政負担を考慮し検討していきます。



石田 進二議員

施政方針

Q ▶ 公約に掲げた課題解決は

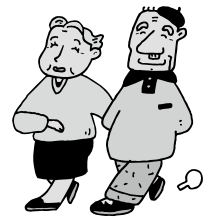
A ▶ 実現に努力します

質問 高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らすことができる環境づくりにドアからドアまでを基本に病院や銀行、買い物などに利用できる高齢者等福祉タクシーを運行するための方法と財源は。

答弁 福祉タクシーの運行については、地域コミュニティバスや乗り合い交通の導入を検討し、通院や買い物などの移動手段を確保していきたい。財源については、国や県の補助金を積極的に活用し、事業の実現を図っていきます。

質問 自主防災組織に対する支援を大幅に拡大するための財源は。また、防災無線の戸別受信機を自治会長に貸与するのではなく全戸に貸与すべきと思うが。

答弁 購入費の助成を8割から9割に引き上げ、助成限度額を90万円として考えています。しかし、神奈川県等の防災資機材購入事業補助制度が平成22年度で終了となるため、来年度からは町単独事業となるので、町の財政状況や新たな補助制度を模索する中



で早期に拡大したいと考えています。

現在、防災行政無線戸別受信機設置助成交付は、設置に係る経費の3分の2を助成しています。全戸に貸与するには費用が1億5000万円程かかるが、共和地区は平成17年度に、三保地区は本年度に財産区の助成を得て全戸に設置しています。また、災害が発生した時に、正確な判断や行動ができるよう自主防災組織のリーダーである自治会長に戸別受信機を貸与することも考えています。

質問 退職金の辞退の方法は。

答弁 私は、退職金を辞退すると公約しました。その実現に向けては、すでに行った他市町村の事例等を県の市町村行政課及び町村会事務局に確認していますので、今後、町民が理解できるような方法で対処します。

施政方針

Q ▶ 所信表明を受けて

A ▶ 任期4年間で取り組みます

質問 バス問題は県の生活交通対策協議会、JRは御殿場線輸送力増強促進協議会等と、積極的に連携し取り組みでまいますとあります。どちらも結成され長い年月を経過し、各首長の取り組みが甘かったと感じているのか。具体的にはどのような取り組みをするのか。

答弁 バス問題は地域生活交通の確保に向けて、一定の成果があがっていますが、JR東海では御殿場線の増発はできないとの回答です。このため、新しい取り組みとして関係する自治体と民間団体とも連携・強化し、要望活動を展開していきたいと考えています。

質問 提案の眼科と耳鼻咽喉科の誘致は、受診者が少ないと思いますが、承知の上での招致活動と考えてよいか。

答弁 かかりつけ医の確保が重要と考えます。清水地域に再開した診療所は在宅診療も根付き、成果が上向いています。医師会や関係機関との協力を得て取り組みたいと考えています。

質問 子供を安心して産める産婦人科医の誘致がなぜ計画にないのか。

答弁 2市8町または1市5町で取り組む問題だと考えています。

質問 パークゴルフ場は土地利用計画を含め、議論に努めてまいりますと結んでいる。現在旧山北高校跡地で進めている事業を対象にしての表明と受け止めてよいか。

答弁 旧山北高校跡地は計画どおり着手し、年度内に完成させ、23年秋にオープン予定です。ハイツ&ヴィラの跡地は、三保地域から新たな要望が出ていますので、土地利用計画を含め慎重に検討し、方針を定めていきます。

質問 選挙時の討議資料は公約と受け止めてよいか。

答弁 任期4年間全力で取り組みつもりです。



岩本 章治議員





川村 俊治議員

地域主権改革

Q ▶ 町への影響はどうか

A ▶ 効率的な行政運営ができると考えます

政府は6月、地域主権改革の方向性を示す「地域主権戦略大綱」を閣議決定しました。この中では、義務付け・枠付けの見直し、基礎自治体への権限移譲、ひも付き補助金の一括交付金化等の方針が示されました。

質問 この方針が町にどのような影響するか検討が必要と思うがどうか。

答弁 地域主権改革により、国の制度に縛られず、自らの判断と責任で課題に取り組むことができ、効率的な行政運営ができると考えられます。一方では、権限移譲により、業務量は増え、業務内容も複雑になり、経費も増加すると予想されます。

質問 県の財政的・人的支援とか職員の研修など町のパワーアップが必要ではないか。

答弁 国の最新情報の把握に努めるとともに、職員には各種研修会・勉強会への積極的な参加を促しています。

質問 一括交付金は23年度予算に影響しないか。

答弁 影響を調べているが、今のところ、具体的な内容が示されていないため苦慮して

います。予算は、「働く世代を山北にとどめる」「高齢者が安心して住める交通・医療」「安心安全への取り組み」などを柱として編成します。

質問 第4次総合計画の推進に影響しないか。

答弁 見直すべきは実施計画の中で見直し、基本事項は継続します。

質問 義務付け・枠付けの見直しにより町民生活に影響するものとして、公営住宅の整備基準・入居収入基準が自治体に任されると町独自の住宅政策が可能か。

答弁 所得制限、ガイドラインなどが町の裁量によって実施できます。

質問 幼稚園・保育園の設置基準が緩和されれば幼児一元化は進むのか。

答弁 認定子ども園など新しい方法で幼保一体化が検討できます。

質問 公立学校の学級編成基準の市町村への委任があれば少人数学級が可能になるか。

答弁 国で少人数学級が検討されており、その結果により定数が改善されます。

施策方針

Q ▶ まちづくりの方向は

A ▶ 新たな総合計画を策定します

質問 選挙公約に掲げた諸施策は、第4次総合計画後期基本計画との整合性をどう取っていくのか。

答弁 公約でもある元気な山北を作るための事業を積極的に推進していくためにも、施策に係わる部分の見直しをする必要があります。第5次総合計画の策定作業を平成23年度から取り組み、平成26年度を初年度とする新たな総合計画を策定します。

質問 新総合計画策定の重要な要素は何か。

答弁 働く世代の人口が減少している現状を考えれば、町民による主体的な地域づくりを協働で推進すると共に、働く世代に住んでもらえるまちづくりを最優先に考えた総合計画が必要です。

質問 老人が元気に生きがいを持って生活できる施策や環境整備をどのように構築するのか。

答弁 健康を維持するための予防施策、例えば地域サロンや各種講座の強化支援、病気の時の医療については、県西広域の救急医療体制のさらなる充実に取り組みます。

助けが必要なときの福祉については、協働の考えに立ちながらも、高齢者福祉タクシーやGPSによる徘徊探知機の購入助成等を考えています。

観光立町山北の再生は

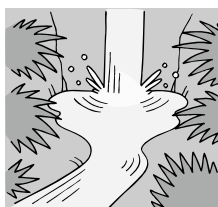
質問 観光立町山北の再生を、体験型観光、町民・事業者のモチベーションの実践をする等の人的、ソフト面に施策の力点を移すべきではないか。

答弁 ソフト面の充実だけでなく、来町者が減少する中、観光消費額を伸ばし、滞在時間を延ばすために、必要な施設であれば温泉の駅等の整備を行っていきます。

洒水の滝の上流域、二の滝三の滝の開発については、山北町の重要な観光資源であり、県とも十分に打ち合わせしながら支援を要望していきます。



瀬戸 顕弘議員





茂木 猛議員

施政方針

Q ▶ 「わだかまり」をなくせるのか

A ▶ 融和と協調を図ります

質問 この度の選挙に臨み掲げられた討議資料「10の宣言」の説明では、瀬戸町政を消極的と批判している。それはどんな点か。

答弁 まちづくりの姿勢が消極的で、スピード感が感じられない面もあったと思っています。町民や議会から指摘されてから行動することは、先んじた対応、行動が重要な危機管理意識の面でも欠けているのではないかと感じました。

質問 「何もしないで国任せ」とは何か。

答弁 透間地区の具体策が示されなかったこと。また学校統廃合では進展が図られなかったことです。

質問 町長も町議時代に透間地区の提案をしていないではないか。

答弁 私が議員であったとき、何か提案しなければいけない立場とは考えておりません。

質問 「わだかまりをなくしたい」と言っていて、新聞の取材に対し、議会で否決されて「ファイトがわいてくる」と答えている。言っていること

とがちぐはぐで理解に苦しむ。
答弁 自分自身に対して、「もっと頑張る」意味で言いました。一日も早く町内の融和と協調を図り、健全な町政の運営に当たります。

質問 「森林を生かすことが町を元気にする。作業道、搬出道をまずつくる」というが、価値のある材が残っているか。現状をどう把握しているか。

答弁 材木としては非常に市場価値が低いですが、手を入れ間伐材の再利用、チップやペレット等、貴重な山北の財産を生かしていくことが私の使命だと思っています。

質問 生産材の利用計画、市場調査などより道路がなぜ先なのか。

答弁 作業道は最低5年かかる。先とか後ではなくて、同時並行です。

質問 町長も林業に携わっていて「公平無私」が守れるのか。

答弁 「公平無私」とは、公の立場で、すべての皆さんに公平に接することで、「森林の再生」で重要なのは、全体から見て効率的かどうかです。

施政方針

Q ▶ 元気な山北を目指すには

A ▶ 財政上のめどを立て実施します

質問 教育環境の整備の中で保育料の段階的無料と小・中学校の給食費の半額についてはいつから実施するのか。

答弁 財政上の問題をクリアして、2分の1かそれより下回るかもしれません。23年度からと考えています。

質問 幼保一元化についてはどのように考えるか。

答弁 国では、子ども・子育て新システムの基本制度案要綱を決定し、平成23年通常国会に法案を提出し、25年度の施行を目指しています。幼稚園・保育園・認定子ども園の垣根を取り払い、幼児教育と保育を共に提供する子ども園（仮称）に一本化する計画です。情報を早く得て取り組んでいきたい。

質問 小・中学校の統廃合の結論を出すのに3年かかるというが、2年ではないのか。

答弁 申請を入れて3年かかりますので、26年度から実施と考えています。

質問 放課後学童ふれあい広場をどのように進めるのか。

答弁 現在の学校施設を使った無料の放課後子ども教室



室と、有料であり民間施設を使った学童保育を、学校施設を使った総合的な子ども居場所づくりとして検討していきます。

質問 住民による主体的な地域づくりの推進とはどういうことか。

答弁 今までの行政のように住民からの提言や提案に基づき実施していくのではなく、住民自身が実施に携わるなど、住民主体のまちづくりを行いたい。

質問 ドアからドアまでの福祉タクシーの運行についての考え方は。

答弁 共和地区の福祉バスや乗合タクシーのようなものです。現在の社会福祉協議会のおでかけ号や福祉タクシーは必要なものと考えています。高齢者をはじめとした地域住民の交通確保に向けて、全力で取り組みます。

森林活用



杉本 君雄議員



Q ▶ 古道の復活・再生を

A ▶ 協力・支援します

質問 共和地域では地域振興の願いを込めて、古道の会を立ち上げ、松田町の虫沢地区と連携を図っています。自然災害時にも使用できる古道の復活と再生を求めたい。

答弁 古道の復活・再生を契機に振興が図れるよう、町としても協力・支援していきたいと考えています。

質問 古道再生後の古道マップ作成は。

答弁 山北の観光等に大きな力になるので、作成を考えています。

質問 古道を再生し、セラピーロードの考えは。

答弁 森林セラピーは、町内に4つのコース、河村城跡・洒水の滝コース、丹沢湖周辺、世附と玄倉方面、大野山周辺を基地認定をして、具体的な計画づくりに向け、調査・検討を進めています。

チェーンソーアートで地域振興を

質問 間伐材の活用手段として、チェーンソーを使用する彫刻、チェーンソーアートが注目されております。大野山開き等に大会を開催し、交流人口の増加と地域活性化を図ったらどうか。

答弁 森林整備に伴う間伐材の利活用については、町としても大きな課題の一つであると認識しております。地域資源を活用した取り組みは、県から地元地域や関係団体等に連携の打診がありましたので、県とともに積極的に進めます。

質問 チェーンソーアートの県大会の開催は。

答弁 大野山開きや県の畜産祭りなどに実現化を図っていきたくと考えています。

質問 ウッドボイスとの協力は。

答弁 今後は共和地域を主体としたチェーンソーアートを初め、ウッドボイス事業などの山北特有の地域資源を活用した芸術活動に対し、県と連携を図る中で積極的な支援を考えております。

施政方針



熊澤 友子議員

Q ▶ 町営住宅の建設は

A ▶ 新住宅マスタープランを策定し進めます

町営住宅

質問 店舗併用中堅所得者住宅の建設と、町営住宅建て替えについて、具体的な計画は。

答弁 中堅所得者住宅、低所得者住宅それぞれ100戸を計画しています。

質問 山北駅北側の店舗併用中堅所得者住宅のプランの進行状況は。

答弁 町所有地以外のもとも計画に含まれておりましたので、そこを白紙に戻し、公共用地のみを利用した計画を検討しています。

質問 計画がどんどん遅くなるのではないかと、建設開始の目安は。

答弁 25年、26年には立ち上げたい。

質問 既存の町営住宅の建て替えは。

答弁 新住宅マスタープランを策定する中で、水洗化や環境整備、建て替えを進めていきます。

安心して出産や子育て

質問 医療システムの構築とは。

答弁 妊産婦や新生児に適

正な医療が提供されるよう、小田原市や足柄下郡、小田原市立病院や小田原医師会を含めた地域医療体制検討部会で、検討し密接な連携を図っていくことです。



高齢者等福祉タクシー

質問 地域制限や年齢制限は、あるのか。

答弁 制限は設けなくて検討していきたい。

質問 現在の福祉タクシーと差がないように検討する考えは。

答弁 今の制度も当然視野に入れて検討していきます。

保育料、給食費無料化

質問 保育料無料化の前に所得制限を緩和する考えは。

答弁 具体的な財政のことを踏まえた中で検討します。

質問 給食費の口座引落の手数料を町で負担する考えは。

答弁 検討します。

| 議案番号 | 議案 | 議員名 (議席順) | 結果 | 佐藤光男 | 瀬戸顯弘 | 川村俊治 | 熊澤友子 | 池谷荘次郎 | 石田進二 | 杉本君雄 | 細川哲郎 | 茂木 猛 | 瀬戸恵津子 | 岩本章治 | 小菅光雄 |
|----------|------------------------------------|-----------|------|-------|------|------|------|-------|------|------|------|------|-------|------|------|
| | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 74 | 神奈川県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について | | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 75 | 人権擁護委員の推薦について | | 同意 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| — | 足柄西部清掃組合議会議員の補充選挙について | | 選任 | ————— | | | | | | | | | | | |
| 陳情 12 | 保育制度改革に関する意見書提出を求める陳情書 | | 趣旨採択 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 報告 8 | 平成 21 年度山北町の健全化判断比率及び資金不足比率の報告について | | | 報告のみ | | | | | | | | | | | |

平成 22 年第 4 回臨時会 (10 月 4 日)

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-------------------------------|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 76 | 平成 22 年度山北町一般会計補正予算 (第 3 号) | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 77 | 平成 22 年度山北町水道事業会計補正予算 (第 1 号) | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

○は賛成、●は反対、／は欠席を表しています。本杉博是議長は、採決に加わりません。また、報告については、採決の対象となりません。

県外視察

10月5日、6日に新潟県へ視察研修

独自のまちづくり

聖籠町

聖籠町は、新潟市と新発田市に接し総人口1万4千人、町の総面積38.0㎡ではほぼ平坦な地域です。新潟東港に造成された工業団地には、100社以上の企業が進出し、若年層の定住が進んでいます。工業団地からの税収も43億円を超え、平成の大合併にも加わらず独自の町づくりを目指している町です。

近年の新生児出生も100名前後で推移しています。通常保育は無料。学区毎に循環バスの運行。空き教室利用の「こども園」等、子どもと働く世代の施策を強く展開しています。

しかし、公共交通の便が悪い、買い物がつらい、更なる企業誘致、町内の豊

富な観光資源の連携と整備等、当町にも共通する問題を抱えているようです。

中越地震

からの復興
旧山古志村

2日目は長岡市山古志支所 齋藤支所長から平成16年10月23日地震発生直後のすさまじい状況を聞き、その後復興中の現場を視察しました。

外部への全通信手段が途絶し、機能停止した行政、村民の状況把握もできない緊急時の脆さを痛感された



土砂に埋まった家屋が残る旧山古志村

貴重な体験から、「いざとなったら自分はどうするのか。どう動くのか普段から考え、体に染み込ませておく事が大事」さらに、「地域コミュニティ」の大切さを力説されました。
近い将来の地震発生が言われる中、当町の防災メニュー、コミュニティの再構築の必要性を考えさせられました。
(瀬戸 顯弘)

議会活動報告

| 10 月 | |
|------|----------------|
| 27 | 議会広報編集委員研修会 |
| 22 | 議会だより編集委員会 |
| 21 | 足柄消防組合議会定例会 |
| 15 | 議会だより編集委員会 |
| 12 | 足柄上衛生組合議会定例会 |
| 8 | 議会だより編集委員会 |
| 5 | 町議会議員県外視察(新潟県) |
| 〃 | 5/6 |
| 〃 | 全員協議会 |
| 〃 | 第4回臨時会・本会議 |
| 4 | 議会運営委員会 |

| 9 月 | |
|-----|---------------|
| 〃 | 第3回定例会・本会議 |
| 〃 | 総務環境常任委員会 |
| 〃 | 第3回定例会・本会議 |
| 9 | 議会運営委員会 |
| 8 | 第3回定例会・本会議 |
| 〃 | 第3回定例会・本会議 |
| 10 | 第3回定例会・本会議 |
| 13 | 総務環境常任委員会 |
| 〃 | 福祉教育常任委員会 |
| 14 | 第3回定例会・本会議 |
| 15 | 第3回定例会・本会議 |
| 〃 | 全員協議会 |
| 29 | 足柄西部清掃組合議会定例会 |
| 〃 | 議会だより編集委員会 |

| 8 月 | |
|-----|-------------------------|
| 〃 | 議員親和会総会 |
| 6 | 議会運営委員会 |
| 〃 | 第3回臨時会・本会議 |
| 〃 | 全員協議会 |
| 〃 | あしがらブロック会議 |
| 17 | 議会運営委員会正副委員長研修会 |
| 〃 | 郡町村議会議長会臨時総会 |
| 20 | 県町村会町村長・議長合同研修会 |
| 25 | 箱根・南足柄間道路建設促進議員連盟講演会・総会 |
| 26 | 議会運営委員会 |
| 30 | 県後期高齢者医療広域連合議会第2回定例会 |

第5回臨時会

11月30日(火)

12月定例会(予定)

12月8日(水)～10日(金)

庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ 議会事務局 **75-3653**

●議会ホームページ● <http://www.town.yamakita.kanagawa.jp/gikai/>

議会の傍聴に
おいで下さい



表彰

石田進二氏は、町議会議員として11年以上にわたる地方自治発展に寄与された功績により、永年勤続町村議会議員徽章着用表彰を受けられました。



共和地区ふれあいガーデン

●表紙の写真は、「やまきた健康スポーツ大会」です。



委員長
副委員長

杉本 君雄
池谷 次郎
川村 俊治
熊澤 友子
茂木 猛
瀬戸 恵津子

台風9号が各地を襲いました。豪雨により、小山町と山北町に甚大な被害をもたらしました。特に15時からは川西地区では100ミリを超え、被害が町全体で66ヶ所発生しました。そのため議会を休会し、災害現場を確認しました。被害にあわれた方々はもとより、迅速な復旧ができるよう議会としての責務を果たしたいと思っております。

議会だより163号をお届けいたします。議会活動をより理解していただき、身近に感じていただけるよう、情報を発信していきたくと考えています。

編集後記